

学校規模適正化・適正配置に関する住民説明会 実施状況をお知らせします

◇説明会の開催日・場所

【期日】平成 30 年 7 月 15 日（日）

【場所】明和中学校

【参加者数】29 名

鹿児島市教育委員会では、平成 30 年 3 月に「鹿児島市立小学校・中学校の学校規模適正化・適正配置に関する基本方針」を策定しました。そこで、保護者や地域の皆様と学校の現状や認識を共有するため、各地域で説明会を開催しましたので地域ごとの状況をお知らせします。

【説明会の内容】

①基本方針の内容の説明 ②小・中学校の現状の説明 ③質疑応答・意見聴取

◇寄せられたご意見やご質問

ご意見やご質問	回答
小中一貫校のメリットはどのようなものがあるか。	小中一貫教育の学習指導のメリットとしては、児童生徒の学習意欲の向上、指導内容の系統性に対する教員の理解向上、中学校教員の乗り入れによる授業の充実などとされています。また、生徒指導上のメリットとしては、小中一貫した生徒指導体制によるいじめ・不登校などの減少、児童生徒の規範意識の向上などとされています。
「コモンヒルズはらら」は、どの学校区に入るのか。（ご質問では「コスモタウン原良」とお伺いしましたが、「コモンヒルズはらら」のご質問として回答します。）	「コモンヒルズはらら」の住所は、原良5丁目にありますので、原良小学校区に該当します。
明和小中は、すでに小中一貫のような状況にある。少子化が進む中で早急に適正化を行う必要があるのではないか。	子供たちにとって、よりよい教育環境を充実させていくため、保護者や地域の方々との理解と協力を得ながら、検討して参りたいと考えております。
資料の例にはなかったが、適正規模校である明和小と検討対象校である明和中を、小中一貫校へ統合するという手段もあり得るのか。	それぞれの状況にもよりますが、小中一貫教育の教育効果について、保護者や地域の方々の理解が得られ、学校全体として児童生徒数や教員数を確保できる場合は、適正規模校と検討対象校との統合も考えられます。
小規模校では専門の教員を配置できないというデメリットがあるということだが、一人の教員が複数の学校を掛け持ちすることはできないのか。	一人の教員が、複数の学校を兼務することはできません。しかし、教職員それぞれの授業時数や地理的な状況等により、兼務させることが難しい場合があります。

裏面へ続く

明和には、県営住宅もあるので、県との情報共有なども行いながら検討してもらいたい。

それぞれの校区内の住宅事情は、児童生徒数の推移に関わりがあることから、関係機関の情報収集を行いながら、検討して参ります。

※すべてのご意見やご質問を掲載したものではありません。ご了承ください。

子供たちのよりよい教育環境を確保するために、皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。

ご意見やご要望などがございましたら、右記までご連絡ください。また、説明会で使用した資料などは、市HPにも掲載していますので、ご覧ください。

鹿児島市教育委員会 (2018年10月作成)

〒892-0816 鹿児島市山下町6-1

鹿児島市教育委員会 総務課 企画調整係
(直通)099-227-1926 (FAX)099-222-8796

(Eメール) kysoumu@city.kagoshima.lg.jp

